

さいたま市⇒宮城県気仙沼市

放置自転車50台を寄贈

さいたま市は4月28日、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市に、整備済み放置自転車と修理道具一式を寄贈しました。

きっかけとなったのは4月12日、友人の向江さんがボランティアで気仙沼を訪れた際に、支援物資として自転車が必要だと聞いていたこと。同月14日、力を貸して欲しいと神坂たつあきに連絡が入り、すぐさま市に自転車の寄贈を要望。

自転車の確保・修理から輸送まで、わずか2週間での“スピード実現”となりました。(ご協力をいただいた各種団体さま、心より感謝申し上げます。)

寄贈した、自転車50台のうち、27台は市立新月中学校の体育館で暮らす被災者の足として、23台は県立気仙沼高校に通う学生の通学用として活用されます。

「必要なときに、必要なところへ、必要なもの」をお届けでき、皆さん、大変に喜んでくださいました。

市や各種団体のご協力をいただき被災者のお役に立てたことは光栄です。現地で見聞きしたことを今後の支援活動に活かしてまいりたいと思います。

ひとりの声から全てが始まりました！あなたの声を神坂たつあきにお聞かせください！



(気仙沼高校にて)



(新月中学校にて)

公園建設予定地の早期一部開放が決定！！

7月中旬予定！皆さまの声が実現しました！

センターフィールド自治会・同管理組合の代表と、5月13日に同建物に隣接する公園建設予定地の早期建設について、さいたま市に署名簿と要望書を提出させていただきました。

5月20日、神坂市議会議員に連絡が入り、「URへの強い要請の結果、7月中旬に暫定的ではありますが一部開放を決定しました」とのこと。

その広さは2,000㎡(約600坪)取り急ぎ“原っぱ公園”という形ですが、夏休みを元気いっぱいこの公園でボールを追いかけながら遊ぶ子供たちの笑顔が目に見えます。



(左から神坂たつあき／さいたま市中野都市局長／林自治会長／三島理事長)

